

# 2013 年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」

## 3 年次調査の概要

- 調査対象者 学部 2011 年度生全員。
- 調査方法 2013 年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。
- 回収状況 有効回収数は 3614 票であり、在籍者数に対する回収率は 57.2%であった。

### 学部別回収状況（3 年次調査）

	在籍者数	回収数	回収率
神学部	79	65	82.3%
文学部	740	453	61.2%
社会学部	477	372	78.0%
法学部	886	420	47.4%
経済学部	850	441	51.9%
商学部	935	548	58.6%
政策学部	444	249	56.1%
文化情報学部	287	140	48.8%
理工学部	895	469	52.4%
生命医科学部	266	179	67.3%
スポーツ健康科学部	161	81	50.3%
心理学部	165	103	62.4%
グローバル・コミュニケーション学部	132	56	42.4%
所属不明	—	38	—
合計	6317	3614	57.2%

# 2013 年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2011 年度生用)

## アンケートご協力をお願い

同志社大学学習支援・教育開発センターでは、より良い教育プログラムの開発を目的として、みなさんが本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知るための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で 28 問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

同志社大学学習支援・教育開発センター

E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3277

Q1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- |                |                       |                             |
|----------------|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 神学部神学科      | 12. 法学部法律学科           | 23. 理工学部エネルギー機械工学科          |
| 2. 文学部英文学科     | 13. 法学部政治学科           | 24. 理工学部機能分子・生命化学科          |
| 3. 文学部哲学科      | 14. 経済学部経済学科          | 25. 理工学部化学システム創成工学科         |
| 4. 文学部美学芸術学科   | 15. 商学部商学科            | 26. 理工学部環境システム学科            |
| 5. 文学部文化史学科    | 16. 政策学部政策学科          | 27. 理工学部数理システム学科            |
| 6. 文学部国文学科     | 17. 文化情報学部文化情報学科      | 28. 生命医科学部医工学科              |
| 7. 社会学部社会学科    | 18. 理工学部インテリジェント情報工学科 | 29. 生命医科学部医情報学科             |
| 8. 社会学部社会福祉学科  | 19. 理工学部情報システムデザイン学科  | 30. 生命医科学部医生命システム学科         |
| 9. 社会学部メディア学科  | 20. 理工学部電気工学科         | 31. スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科      |
| 10. 社会学部産業関係学科 | 21. 理工学部電子工学科         | 32. 心理学部心理学科                |
| 11. 社会学部教育文化学科 | 22. 理工学部機械システム工学科     | 33. グローバル・コミュニケーション学部英語コース  |
|                |                       | 34. グローバル・コミュニケーション学部中国語コース |
|                |                       | 35. グローバル・コミュニケーション学部日本語コース |

Q2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性                      2. 女性

Q3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学                      2. 自宅外通学

Q4. あなたの 2013 年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- |                   |                   |                   |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満    | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上    |

Q5. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方    2. 中の上ぐらい    3. 中ぐらい    4. 中の下ぐらい    5. 下位の方    9. わからない

Q6. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1. 一般入試                 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校)                               |
| 2. 指定校推薦入試              | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試<br>(法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 3. 推薦選抜入試(公募制)          | 11. スポーツ推薦選抜入試  |
| 4. AO入試                 | 12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年次編入学試験                     |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試    | 13. 社会人特別選抜入試   |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校)   | 14. 外国人留学生入試  |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) |   |
| 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) |   |

Q7. あなたの第一志望校はどこでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現在、在籍している学部(学科)    2. 本学の他学部(他学科)    3. 私立他大学    4. 国公立大学  
5. 短期大学    6. 専門学校    7. その他(具体的に )

Q8. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現役    2. 一浪    3. 二浪    4. その他(留学生、社会人など)

Q9. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	(履修・利用し ていない)
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9
6) ラーニング・コモンズの環境や設備	1	2	3	4	5	9
7) 各学部が設置している学習スペースの環境や設備	1	2	3	4	5	9
8) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9
9) 就職に関する情報提供や相談	1	2	3	4	5	9
10) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、 司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9

Q10. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                     |                              |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目)            | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 教養演習科目                           | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス)         |
| 3. 学際科目                             | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目        |
| 4. プロジェクト科目                         | 9. キャリア形成支援科目                |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目                   |

Q11. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、今まで本学で学生生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				現在			
	身につけていなかった	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につけていた	身につけなかった	あまり身につけなかった	やや身についた	身についた
1) 一般的な教養	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 専攻分野や学科の知識	1	2	3	4	1	2	3	4
3) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
12) 英語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
13) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
15) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
16) チームワーク	1	2	3	4	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20) 異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
21) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
22) 効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4
23) 自ら考え行動する力	1	2	3	4	1	2	3	4
24) キリスト教精神	1	2	3	4	1	2	3	4
25) 日本文化に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
26) コミュニケーション能力	1	2	3	4	1	2	3	4

Q12. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

Q13. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

Q14. あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

Q15. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

Q16. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	そう思う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

Q17. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4
7) 大学では毎日新しい発見がある	1	2	3	4



Q24. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た	あ ま り	た ま に し た	し た 日 常 的 に
1) 図書館を利用する	1	2	3	4	
2) ラーニング・commonsを利用する	1	2	3	4	
3) 各学部が設置している学習スペースを利用する	1	2	3	4	
4) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
5) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
6) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
7) 学習の計画を立てる	1	2	3	4	
8) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
9) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
10) ボランティア活動をする	1	2	3	4	
11) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	

Q25. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |              |                  |              |
|--------------|------------------|--------------|
| 1. 民間企業に就職する | 2. 公務員や教員として就職する | 3. 自営業や家業を継ぐ |
| 4. 大学院に進学する  | 5. 他大学に(編)入学する   | 6. 専門学校に進学する |
| 7. まだわからない   | 8. その他(具体的に )    |              |

Q26. あなたが働くこと(希望進路)について真剣に考え始めたのはいつごろですか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

- |             |                 |                  |
|-------------|-----------------|------------------|
| 1. 大学入学前    | 3. 大学2年生のとき     | 5. 大学3年生の10月から3月 |
| 2. 大学1年生のとき | 4. 大学3年生の4月から9月 | 6. まだ考えていない      |

Q27. あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思いますか。A群より、もっとも必要だと考えるものから順に3つ答えて選択肢の番号を記入してください。また、その能力は大学生生活のどの場面で得られると考えていますか。最初に選んだA群の項目に対応するものをB群から1つ選択して番号を記入してください。

順位	能力(A群から1つ選択)	場面(B群から1つ選択)
1		
2		
3		

A群

1. 一般的な教養	5. チームワーク	9. 人間関係を構築する能力
2. 専門分野の知識	6. 粘り強く取り組む力	10. 批判的に考える力
3. 課題を解決する力	7. 英語の能力	11. 自ら考え行動する力
4. 問題点を発見する力	8. リーダーシップの能力	12. コミュニケーション能力

B群

1. 大学の授業(教養科目)	5. 海外語学研修のプログラム	9. ボランティア活動
2. 大学の授業(専門科目)	6. 留学	10. 就職活動時
3. 大学の授業(ゼミ・卒業論文・卒業研究)	7. クラブ・サークル活動	11. 大学生活ではあまり身につかない
4. 大学の授業(外国語教育科目)	8. アルバイト	12. その他( )

Q28. あなたは、希望する進路のために次のような活動を行いましたか。以下の項目のあてはまる番号にそれぞれ1つ〇をつけてください。

	行った	行っていない
1) 専門学校に通う	1	2
2) 進路に関連のある授業を履修する	1	2
3) 目標とする職種に近いアルバイトをする	1	2
4) インターンシップ	1	2
5) 進路に関連する文献・雑誌記事を読む	1	2
6) クラブやサークルの先輩または OB・OG に仕事の話を聞く	1	2
7) キャリアセンターに行って相談を受ける	1	2
8) 教員に相談する	1	2
9) 語学検定試験や資格試験を受ける	1	2

あなたの学籍番号（学生 ID）を教えてください。

ID 

--	--	--	--	--	--	--	--	--

学習支援・教育開発センターでは、みなさんが 3 年次を終えられる時点で同様の調査を実施し、1 年次の時に感じられたことが、どのように変化したかを探ることを計画しています。今回の回答と 3 年次終了時点での回答を照合させることで、1 年次と 3 年次の変化を捉え、今後の教育改善の取り組みに役立てていきたいと考えております。このような目的のため、学生 ID の記入を**任意**でお願いしています。もちろん、この調査は回答者個人を特定して分析するものではなく、学生全体としての傾向を把握するためのものですが、学生 ID を記入したくない方は空白にしておいてください。

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

**ご協力ありがとうございました。**

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学学習支援・教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

## 授業に対する取り組み

図1は、授業に対する取り組みについて具体的な行動をあらわす11項目の頻度を示している。8割を超える学生が「授業課題の提出」をおこなっている（「たまにする」+「よくする」）。「黒板に書かなかったことでもノートを取る」や「試験前に時間をかけて勉強する」ことも、多くの学生が実行している。ただし、「授業の予習や復習をする」「授業内容について教員に質問する」は、両項目とも4割をこえる程度にとどまる。学生に対して能動的な学びをどのように誘発するかが今後の課題となるだろう。

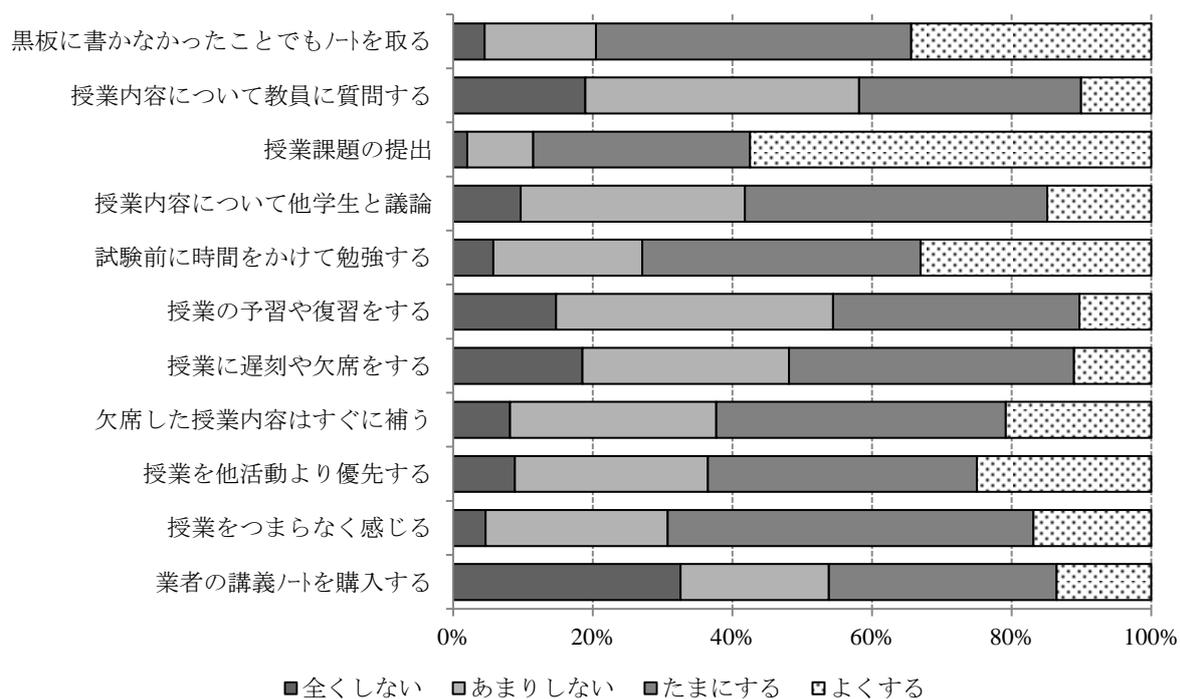


図1：授業に対する取り組み

## 授業の形態・方法

図2は、3年間の大学生活を通して、学生がどのような形態・方法の授業を受講してきたのかを11項目で示している。多くの学生にとって、出欠確認や定期的に出される課題の提出は日常的な出来事となっている。しかし「フィールド・ワーク」、「体験学習」、「実習・実験」といった実践型の授業は、3年次終了段階でも3~4割の学生が経験していない。

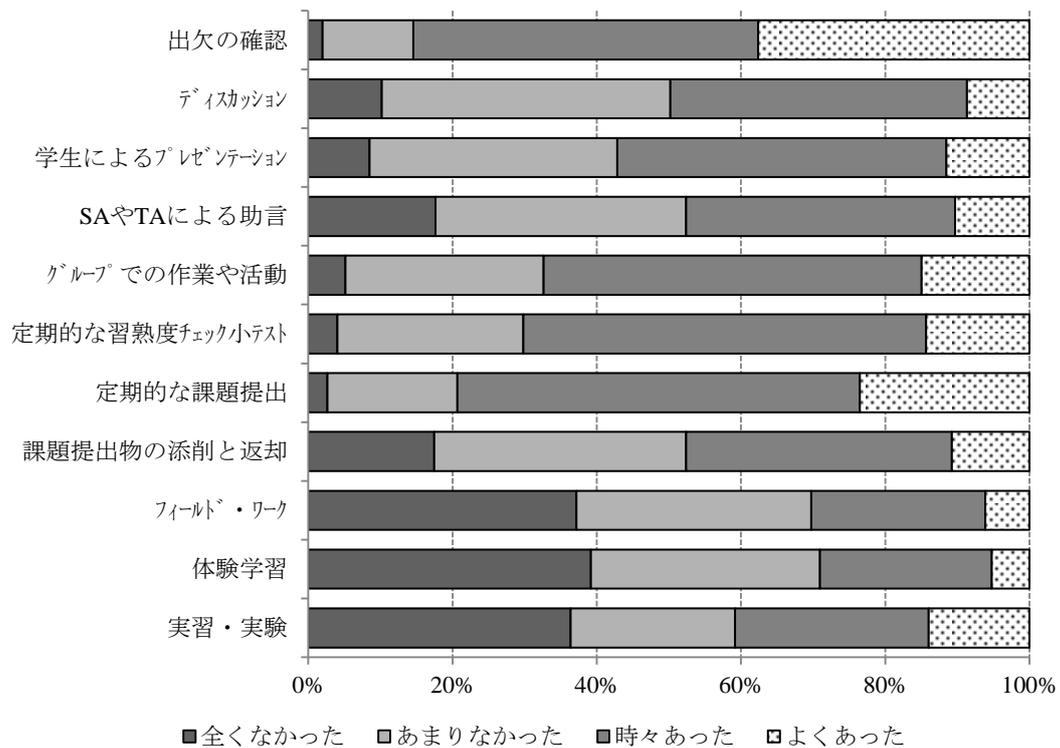


図2：授業の形態・方法

## 留学等の経験

学生の留学経験を確認していこう。図3は大学入学後に行った留学等の経験について示している。3年次終了段階においても、「語学研修プログラムへの参加」が10.0%を示す程度であり、本学学生の留学経験は極めて少数であることがわかる。

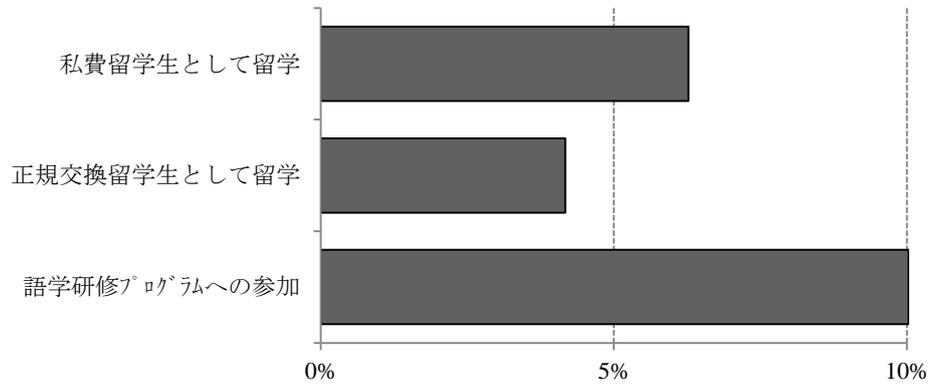


図3：留学等の経験

## 授業に対する評価

図4は授業内容がどの程度役立ったかを14の項目で示している。「多様なものの見方にふれること」に対し、多くの学生は、授業内容が役立ったと回答している。「探究心を持つこと」や「一般常識を身につけること」についても、役立ったと評価する学生が多い。

これらの項目とは対照的に、「愛校精神を持つこと」「国際的視野の獲得」「リーダーシップを発揮すること」に対する学生の評価は低い。いずれの項目も4割ほどの学生が役に立たなかったと回答している。

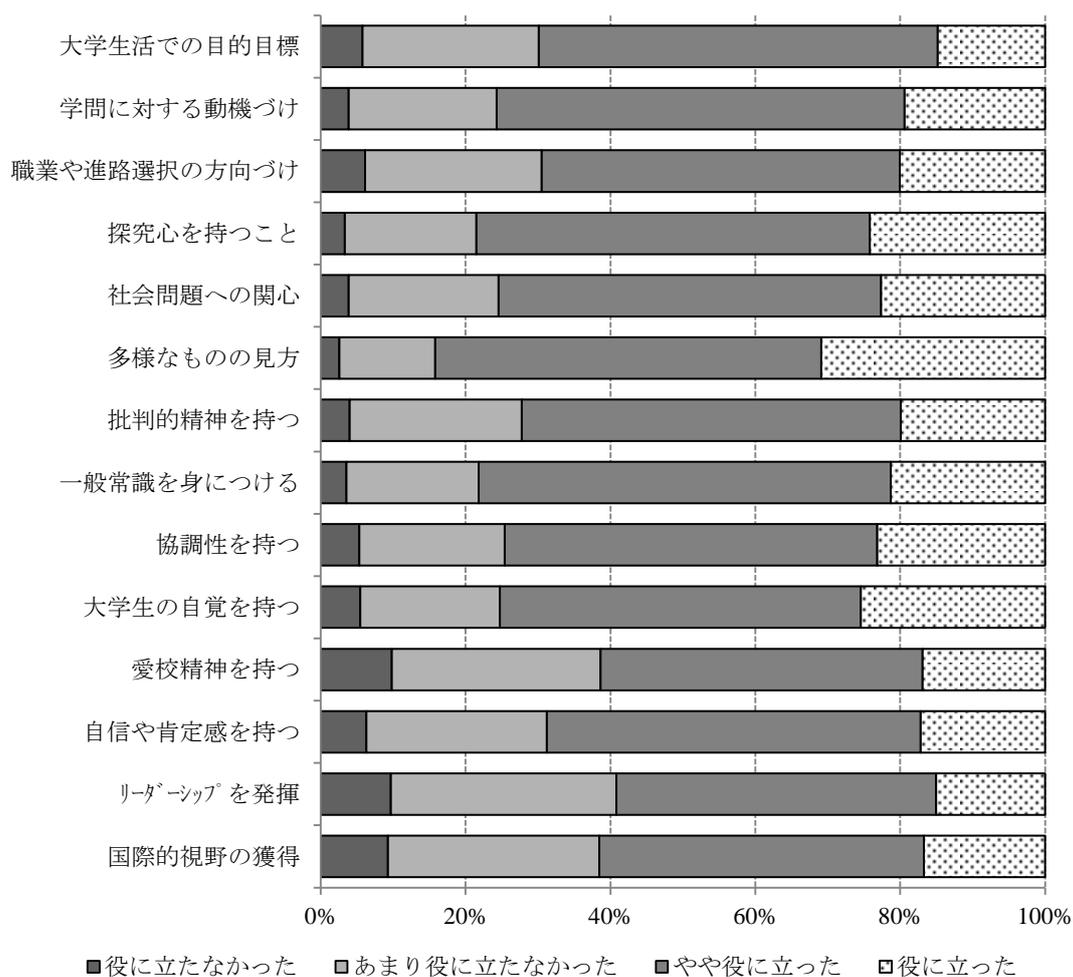


図4：授業に対する評価

## 大学教育の価値

図5は、学生が大学教育に対してどのような意識を持っているのかを6つの項目で示した。「大学で学ぶことは楽しい」「大学で学ぶこと自体に価値がある」「大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる」に対し、8割前後の学生は肯定的に考えている（「ややそう思う」+「そう思う」）ようだ。ただし、「大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない」と考える学生は6割弱となっている（「ややそう思う」+「そう思う」）。

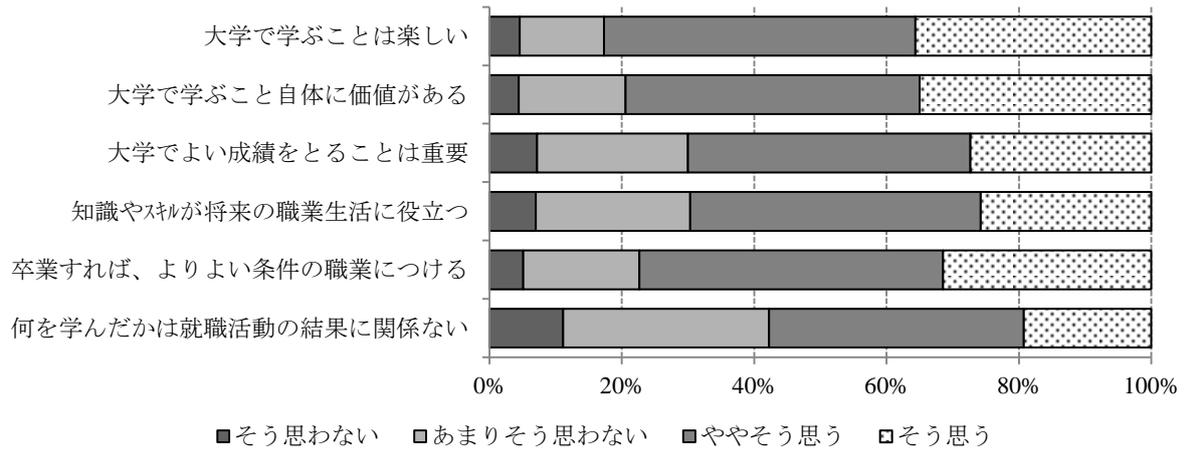


図5：大学教育の価値

## 大学への適応状況

ここでは、大学入学から3年が過ぎた学生の適応状況をみる。図6は友人・教員との関係や、大学生活を過ごすなかで日常的に感じる意識を示している。これによると、9割近い学生は大学の内外で友人関係を形成していることがわかる。さらに、「大学の教員と交流がある」「大学の教員と交流がある」「大学の教員と交流がある」に対する回答結果から、学生の3人に2人は充実した大学生活を送っているものと判断できる。また、学年進行にともなう回答の変化に着目すると、「大学の教員と交流がある」に対する肯定的な回答は1年次より多いようだ。

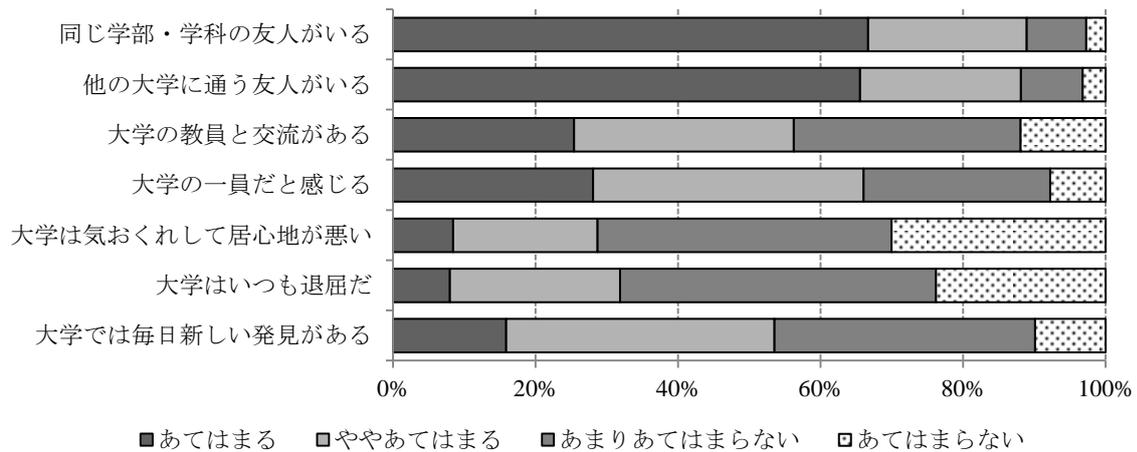


図6：大学への適応

## 学習・生活習慣

図7は入学から3年経過した学生の学習・生活習慣を示している。1年次と比較してもわかるように、大幅な相違は確認されず、安定した学習・生活習慣を示しているといえる。

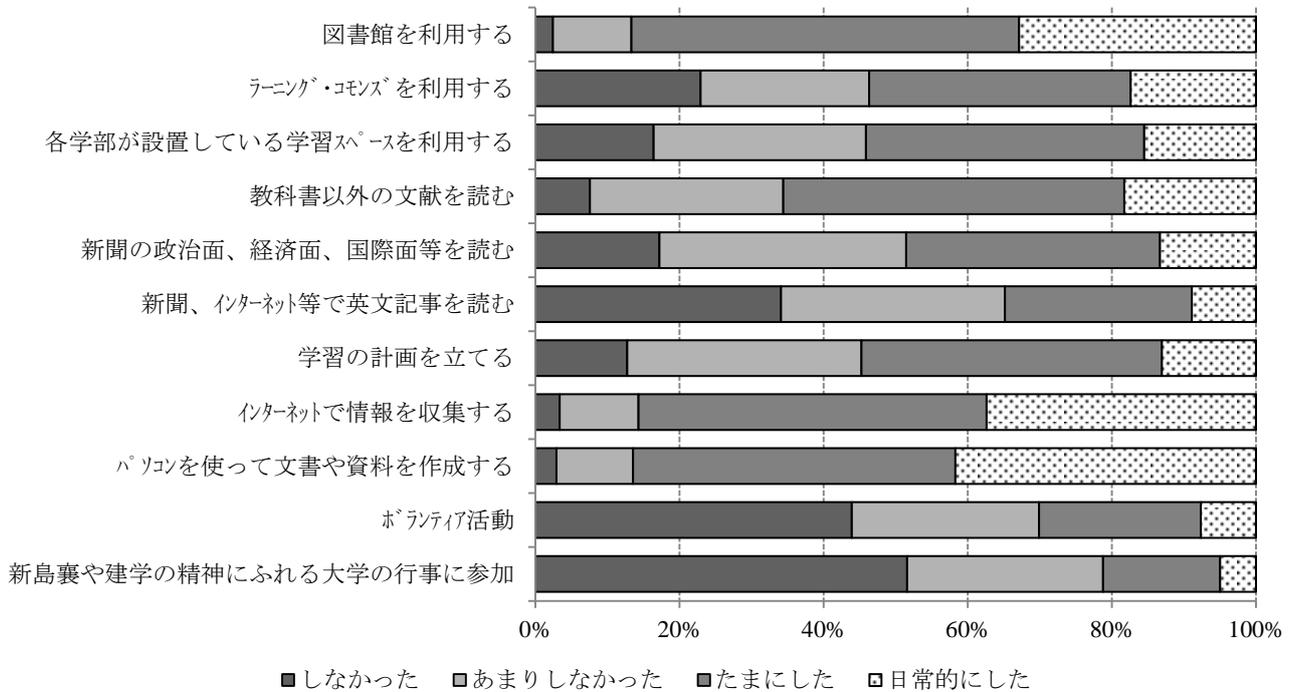


図7：学習・生活習慣

## クラブ・サークル活動

図8は、学生のクラブ・サークルへの加入状況を示す。3年次終了時ということもあり、全体として「現在、加入している」とする割合は、やや低い（53.8%）。

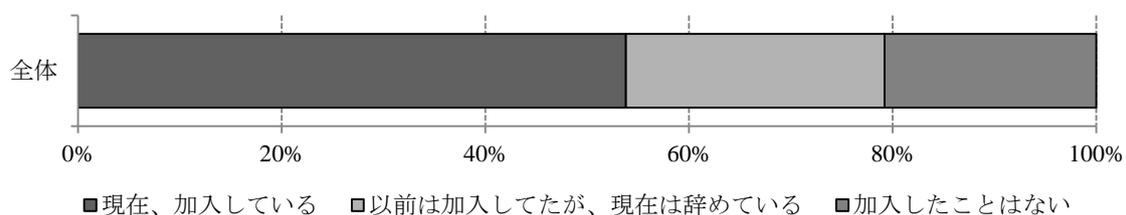


図8：クラブ・サークルへの加入状況

つぎに、学生の加入するクラブ・サークル団体の種別を検討する。図9をみると、全体としてもっとも加入の多い種別は「公認団体：文化系」であった（39.1%）。

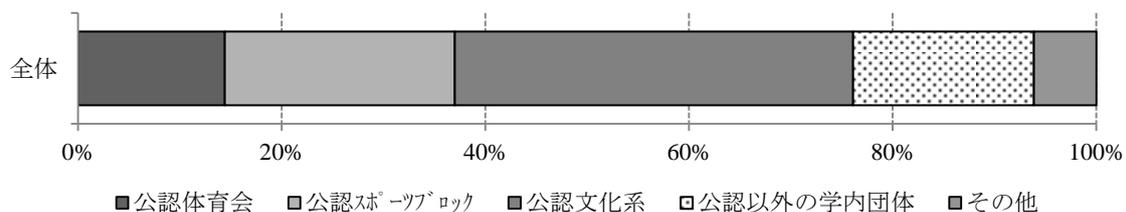


図9：加入団体の種別

## 生活時間（クラブ・サークル、アルバイト、授業外学習、読書）

図 10 は一週間あたりの「クラブ・サークル」「アルバイト」時間を示している。学生の「クラブ・サークル」活動時間は、「0 時間」で多く（38.6%）、平均は 6.22 時間であった。「アルバイト」は、「6~10 時間」とする学生が 24.1%ともっとも多く、平均は 10.96 時間であった。

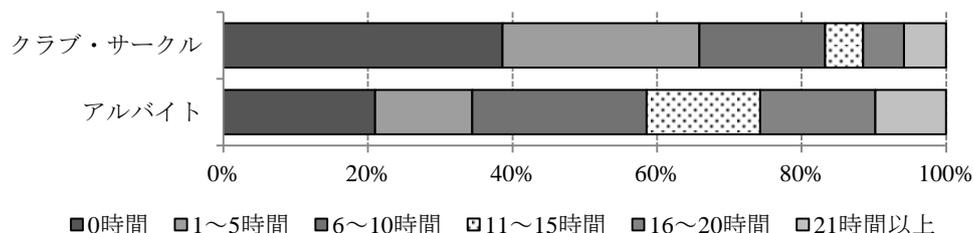


図 10 : 一週間あたりのクラブ・サークル、アルバイト時間

図 11 は、一週間の「授業外学習」「授業に関係ない読書」時間を示す。「授業外学習」は「1~2 時間」でもっとも多く（35.2%）、平均は 4.72 時間であった。「授業に関係ない読書」の時間は「1~2 時間」（25.9%）と「9 時間以上」（25.7%）に多く、平均は 5.83 時間であった。

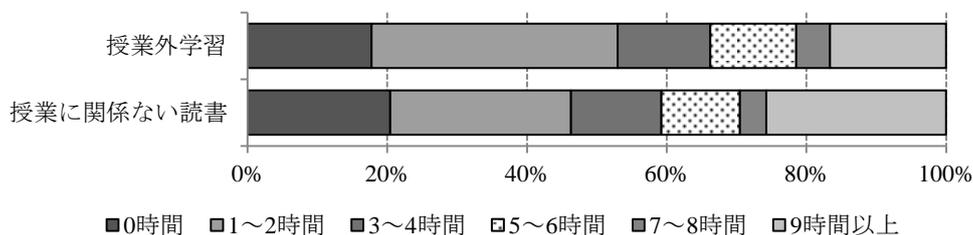


図 11 : 一週間あたりの授業外学習、読書時間

## 満足度

図12は、教育全般に対する満足度を集計したものである。「満足」「どちらかといえば満足」両者を合わせると、68.3%の学生が本学の教育に満足している。

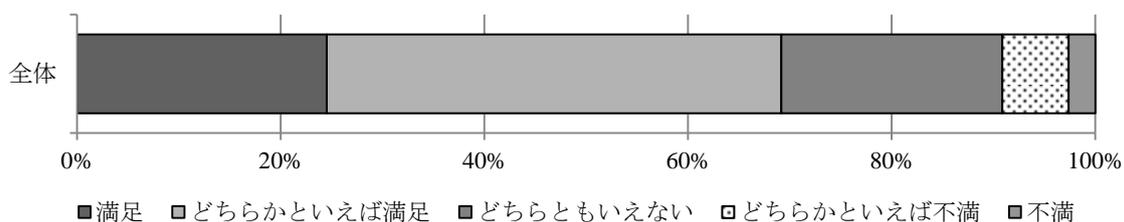


図12: 教育全般に対する満足度

図13は、大学の設備・授業科目に対する満足度を示す。「所属学部・学科の専門の授業」「教室の設備環境」「図書館の環境や設備」「ラーニング・コモンズの環境や設備」について、多くの学生が満足している。一方、「就職に関する情報提供や相談」「免許・資格過程科目の授業」に対する学生の満足度は相対的に低い。

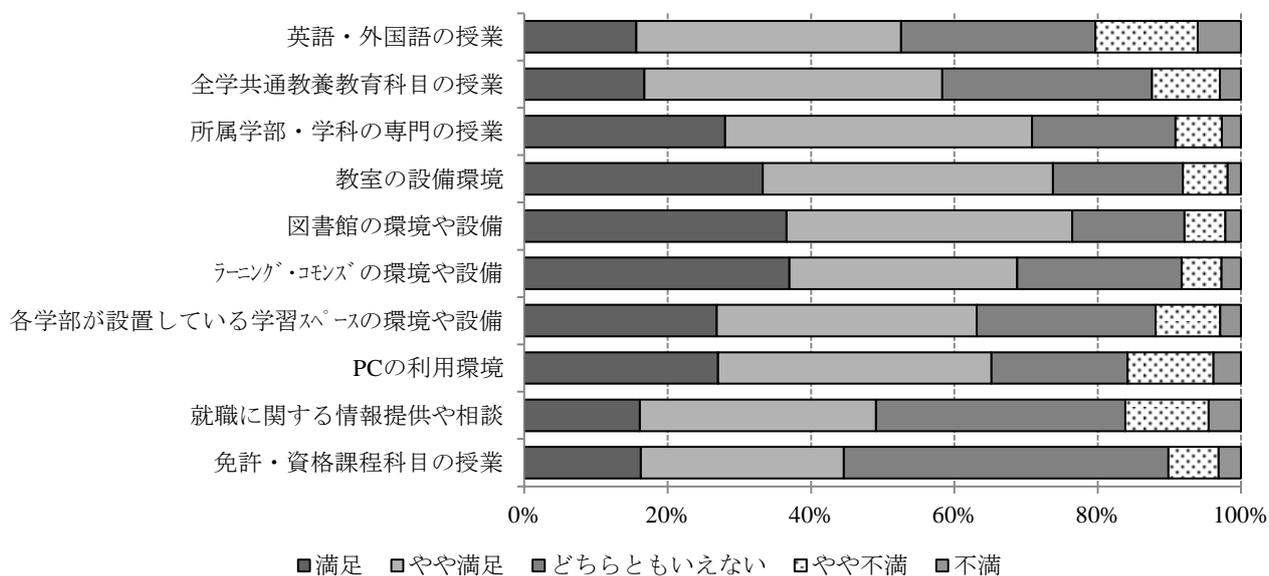


図13: 領域別満足度

## 大学に対する愛着

学生が本学に対してどの程度の愛着をもっているのかを検討する。図 14 は、「あなたは本学に対してどのくらい愛着がありますか」に対する回答をまとめたものである。

全体として、半数ほどの学生が本学に対して愛着をもっている（「非常に愛着がある」と「かなり愛着がある」の合計=45.4%）。一方、「あまり愛着がない」との回答は 10.1%、「まったく愛着がない」との回答はわずか 3.3%であった。

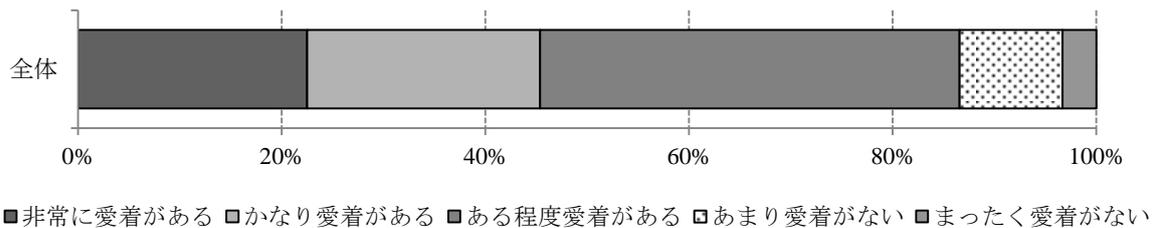


図 14：大学に対する愛着

## 希望する進路と考え始めた時期

3年生が卒業後の進路をどのように考えているのかを確認する。図15は、男女別に卒業後の進路希望を示している。男性に比べ、女性は高い割合で民間企業・自営業への就職を希望している(64.8%:73.2%)。その一方で、男性より女性は大学院への進学を希望していない(15.2%:8.0%)。

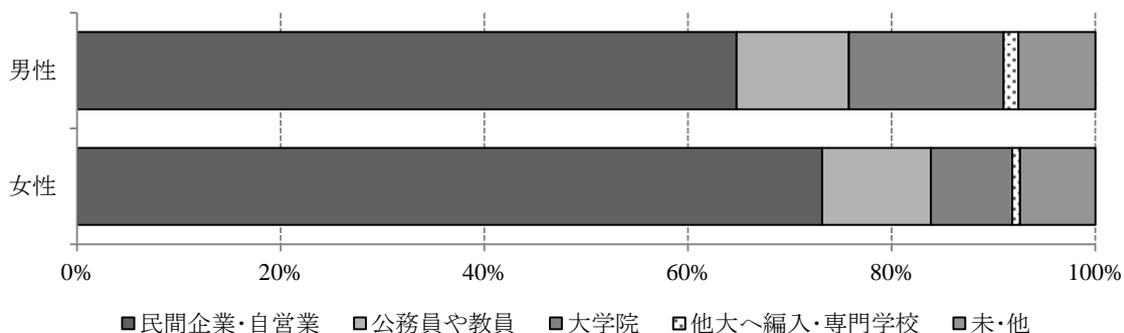


図15: 卒業後の希望進路

図16は「働くこと(希望する進路)について真剣に考え始めた」時期を男女別に示したものである。ここからわかることは、半数以上の学生が3年生に入ってから「働くこと(希望する進路)について真剣に考え始めた」ということだ。

また、「大学入学前」から希望進路について考えていた学生は男性で14.5%、女性で11.4%となっている一方、「まだ考えていない」とする割合は、男性に比べ、女性の方が少ない(7.3%:4.5%)。

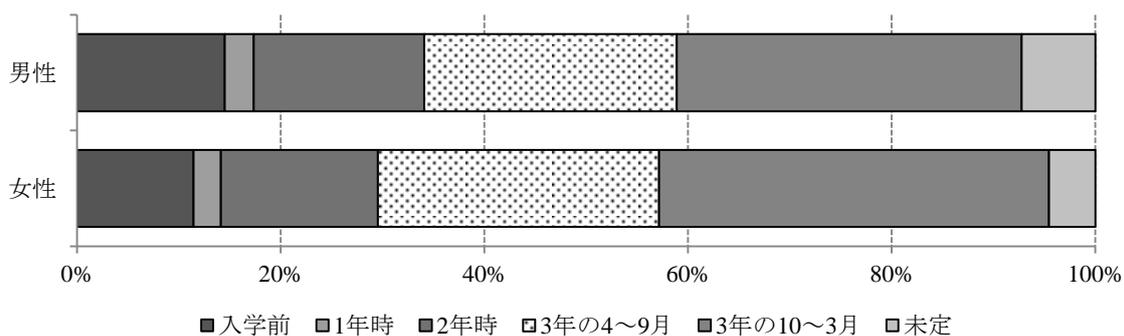


図16: 希望進路を考え始めた時期